

平成16年度 第3回 全学FDの実施概要

1. 実施組織：教育審議会
2. 企画運営：高等教育総合開発研究センター
3. 実施日時：平成16年12月27日（月） 9時30分～17時
4. 場 所：九州大学箱崎文系地区（中講義室及び共通講義棟）
5. テー マ：18年度問題とその対応
6. 概 要

平成18年度から新学習指導要領に基づく高校教育を受けた生徒が、大学に入学する。本FDでは、新・旧学習指導要領の内容の差異を把握し、入学生の学力変化を展望することにより、大学教育がより成果を挙げられるよう教員の理解に基づく対応策を検討することを目的とする。

高校では、平成15年度から新学習指導要領による教育が実施されている。平成18年度には、それに基づいて教育された高校生が大学に入学することになる。この新学習指導要領では、教科内容が旧学習指導要領から大幅に改編されている。従って、平成18年度入学生に対する大学での教育方法については、現在の教授法をそのまま適応できない点も数多くあるものと考えられる。また、教科選択を始め、教科内項目も選択の自由度が高くなっていることから、これまで以上に学習歴の多様化が進んでいるものと考えられる。大学として、この学生の多様化という問題に対応しなければならない。また、学生の関心の幅の狭まりや授業理解の難しさに起因するであろう学習意欲の低下など、修学上の問題への対応も念頭に置かなければならない。

本FDでは、第1部の講演で、新・旧学習指導要領の主要な差異を示し、所謂「18年度問題」に対する教員の問題意識の啓発を図りたい。第2部の分科会では、午前中に、各教科の内容について、予め配布した資料を基に詳細に検討して頂き、教員相互の認識を深めつつ、問題点を抽出して頂く。引き続き午後の分科会では、抽出された問題に如何に対応すべきかを議論して頂き、「18年度問題」への対応を図って頂きたい。

一方、修学指導の分科会においては、シンポジウムを開催し、九州大学の学部・学科での先行的な修学指導の取組を紹介して頂き、これらを参考に今後のよりよい方策についての議論を深めて頂きたい。

第3部の全体会では、各分科会からの報告に引き続き、全体討論で「18年度問題」について更に相互理解を深めていきたい。

7. 実施プログラム

第1部

- 9 : 30 開会式 (会場 : 中講義室)
9 : 40 講演 「新高等学校学習指導要領を基にした高校生の学力変化」
(会場 : 中講義室)
10 : 40 休憩

第2部

- 11 : 00 分科会 (午前の部) (各会場にて)
分科会①～⑨ 資料・問題提起に基づく、各科目での問題点の抽出
分科会⑩ シンポジウム : 九州大学での修学指導の取組状況
12 : 00 休憩
13 : 00 分科会 (午後の部) (各会場にて)
問題解決への対応策の検討

- ① 教養教育科目 (人文系)
- ② 教養教育科目 (社会系)
- ③ 教養教育科目 (自然系)
- ④ 言語文化科目 (英語)
- ⑤ 基礎科学科目 (数学)
- ⑥ 基礎科学科目 (物理学)
- ⑦ 基礎科学科目 (化学)
- ⑧ 基礎科学科目 (生物学)
- ⑨ 情報処理科目
- ⑩ 修学指導

第3部

- 14 : 45 全体会 (会場 : 中講義室)
● 分科会報告 (1時間40分)
(1分科会あたり10分、①～⑩の順)
● 全体討議 (25分)
16 : 50 まとめ・閉会式